

志賀原子力発電所 2号機 試験的発電の終了について

平成20年5月15日
北陸電力株式会社

当社志賀原子力発電所 2号機は、部分出力での性能確認のための試験的な発電を終了しましたので、お知らせいたします。

志賀 2号機は、5月9日の原子炉起動後、5月11日から機器の性能確認のための試験的発電を行い、タービン保安装置の試験や整流板設置後の各部分出力時(定格の約20%、約50%、約80%)における運転性能やタービンの性能確認を実施し、昨日までに所定の性能が確保されていることを確認し、昨日20時に試験的な発電を終了しました。

- 10日 原子炉定格圧力での試験、原子炉格納容器内の点検
- 11～12日 タービン保安装置の試験
- 12～14日 各出力段階での運転性能確認、タービン性能確認

なお、約50%出力運転中に気体廃棄物処理系¹「排ガス除湿冷却器出口水素濃度高」警報²が発生しましたが、運転状態の調整により水素濃度が問題のない低濃度で安定することを確認しました。

今後、準備が整いしだい発電を再開し、定格出力での総合的な性能確認を実施していく予定です。

- 1 気体廃棄物処理系
復水器に流入する気体状の放射性物質を減衰させる系統。
- 2 「排ガス除湿冷却器出口水素濃度高」警報
排気する気体中の水素濃度を監視するためのもの。
(除湿冷却器出口の水素濃度が2.0%以上で高警報が発生)

以 上